



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2009.12

No. 308

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



県内からのタカの渡り報告

1 埼玉県東松山市 物見山駐車場から

澤井 清(鳩山町)

月/日	天候	サシバ	ハチクマ	その他	月/日	天候	サシバ	ハチクマ	その他
9/7	晴	4	2	観察開始	21	晴	4	0	
8	曇～晴	1	1		22	曇	9	0	
9	曇	0	0		23	曇	6	1	支部観察会解散後サシバ1、ハイタカ1
10	快晴	3	2		24	曇	9	1	オオタカ ヒヨドリ、カケスの群渡り
11	曇～晴	2	1		25	快晴	3	1	ハイタカ
12	雨	0	2		26	曇	5	0	
13	晴	0	0	ミサゴ	27	曇	3	0	
14	快晴	1	0	トビ	28	曇	1	0	
15	曇～雨			観 察 中 止	29	雨			観 察 中 止
16	快晴	0	0	オオタカ、カッコウ類	30	雨			観 察 中 止
17	快晴	12	0	鳩山野鳥の会観察会サシバ9羽(見晴の丘)	10/1	曇～晴	4	0	
18	晴	0	0	ミサゴ	2	晴～雨			観 察 中 止
19	曇	0	0	猛禽類出現せず	3	雨			観 察 中 止
20	快晴	2	0		4	晴	12	1	オオタカ タカ類
					計		81	11	

2 (続) 田んぼの上をタカが飛ぶ

中島 康夫(蓮田市)

『しらこぼと』2009年6月号で報告した2008年サシバ観察。今年も同じ場所の田んぼの畦道に毎日座り、概ね9月の1ヶ月間観察を続けました。本年観察の特徴は次の通りです。

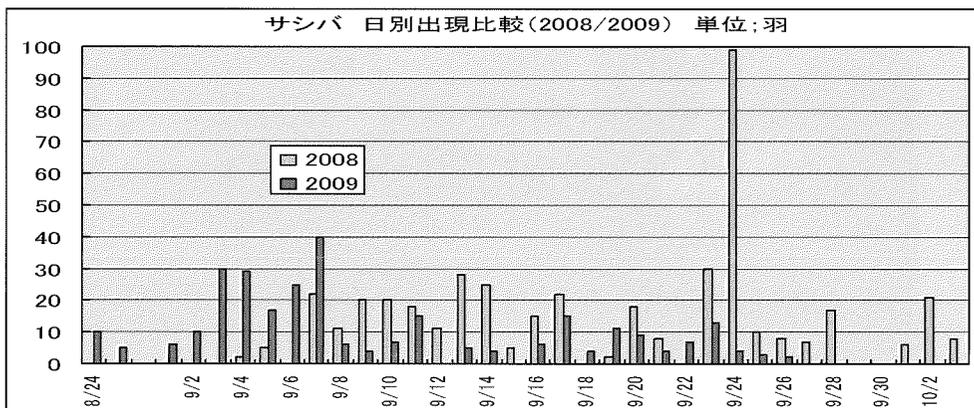
◎観察されたサシバの数は291羽で、昨年(438羽)に比べ大分少ない状況であった。今年は8月半ばでもサシバの渡りがだいぶ観察されていたので、渡りの始まりが早かったのではないと思う。

◎近くの林に泊まったサシバは昨年と同じような状況で林から飛び出し、上昇気流を利用し上昇、主に南と西の方向に飛んで行った。

◎くもりや雨のときの観察数は少なく、渡りづらいようである。

◎林から飛び立つサシバは、1～3羽であり群れは作っていない。また、若鳥を多く観察したが、それも単独行である。大きな群れとなるのは当観測地より先のようなだ。

以上のような特徴に気がきましたが、観測点が増えると更なる発見もあると思いますので、来年は身近なところでの観察をお勧めします(ハチクマも9羽観察でき、おまけも期待できますよ)。観察者は主にAさん、Tさん、私の3人でしたが、毎日多くの方も観察に来られ延べ142人となりました。



月日	曜日	天候	サシバ	月日	曜日	天候	サシバ	月日	曜日	天候	サシバ
8月24日	月	晴	10	9月9日	水	曇	4	9月19日	土	曇	11
8月25日	火	晴	5	9月10日	木	晴 強風	7	9月20日	日	晴 強風	9
9月1日	火	晴	6	9月11日	金	晴	15	9月21日	月	曇	4
9月2日	水	曇時々小雨	10	9月12日	土	雨で中止		9月22日	火	曇	7
9月3日	木	曇	30	9月13日	日	晴	5	9月23日	水	曇時々晴	13
9月4日	金	曇時々薄日	29	9月14日	月	晴	4	9月24日	木	晴	4
9月5日	土	晴	17	9月15日	火	雨で中止		9月25日	金	晴	3
9月6日	日	晴時々曇	25	9月16日	水	晴	6	9月26日	土	曇	2
9月7日	月	晴	40	9月17日	木	晴	15	合計		26日	291
9月8日	火	曇	6	9月18日	金	晴後曇	4	平均			11.2

3 西城沼公園のサシバ

長嶋 宏之(蓮田市)

蓮田市の東の外れに小さな西城沼公園はある。南と東は新興住宅街、北と西は屋敷林に囲まれた昔からの農家が点在する。約25年前に田圃を埋め立てて造成した樹木の多い多目的自然公園だ。東沼と西沼に当時の面影が偲ばれ、今に残っている。

西城沼公園は私の家から15分の距離にあり、朝夕の散歩コースに当たる。そんな身近な公園で3年前からサシバが見られるようになった。

特に今年は8月14日～9月28日の間、散歩に出かけた日はほぼ毎回サシバを観察できた。ある時は沼に面した屋敷林の林縁で、ある時は公園に隣接した民家のTVのアンテナの上で、またある時は農家の庭先の櫓の枝で羽を休めている姿を目にした。以下その幾つかを紹介する。

サシバとの出会い

8月14日：東沼に面した屋敷林から大きなタカを追って小さなタカが飛び出し、カラスが混じって三つ巴の空中戦が始まった。大きなタカが「ピックーン」。サシバだ！バトルの後、小さなタカが頭上の電線に止まった。ツミの成鳥みだった。



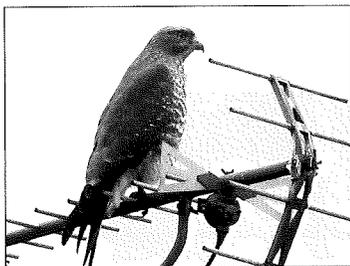
9月18日 西城沼公園

8月26日：A君が樹冠を滑空する4羽のタカを発見。更に2羽が加わり高く舞い上がった。タカ柱はその後、南東の方角に流れた。太陽光を受けて鷹斑が良く見えた。

一緒に見ていたH氏親子、M氏も写真が撮れ、I嬢、M嬢も満足したようだった。

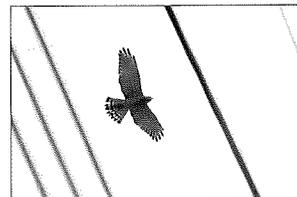
9月5日：5羽がタカ柱を作って南西に流れた後、林縁にまだ3羽の成鳥がいた。

9月21日：公園で2羽のサシバを観察して家に帰ると、何と自宅のアンテナにサシバの成鳥が止まっているではないか。近所の子供達を呼んで見せてあげると、俄か幼稚園になってしまった。



9月21日 自宅

9月28日：鳥友のSさんと鳥談義をしていると、散歩中の人々が数人寄ってきた。丁度その時、1羽のサシバが滑空を始めた。最近公園を散歩する人の中にもタカのファンが増えたようだ。皆さんの



9月28日 西城沼公園

周りにもサシバが居るかも知れませんよ。

第2次県内野鳥分布調査 2009年夏 カッコウの生態

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

表1 調査概要

調査期間	2009年5月10日～7月10日
調査方法	調査はがきによるアンケート他
調査はがき	64通
調査メッシュ	62メッシュ(3次メッシュ)

第2次県内野鳥分布調査 2009年夏は、表1により実施された。本稿では、その中の注目種カッコウを報告する。

1985年～1990年の積算データと、2009年1年の数を単純に比較することはできないが、カッコウの生息メッシュ16は、第1次県内野鳥分布調査で得られたメッシュ数75より、大幅に減少している。

今回の結果を、25,000分の1地形図を縦横4分割したメッシュで、図1に示す。

(小荷田行男)

表2 注目種カッコウの調査

調査はがき	17通
生息メッシュ	16メッシュ

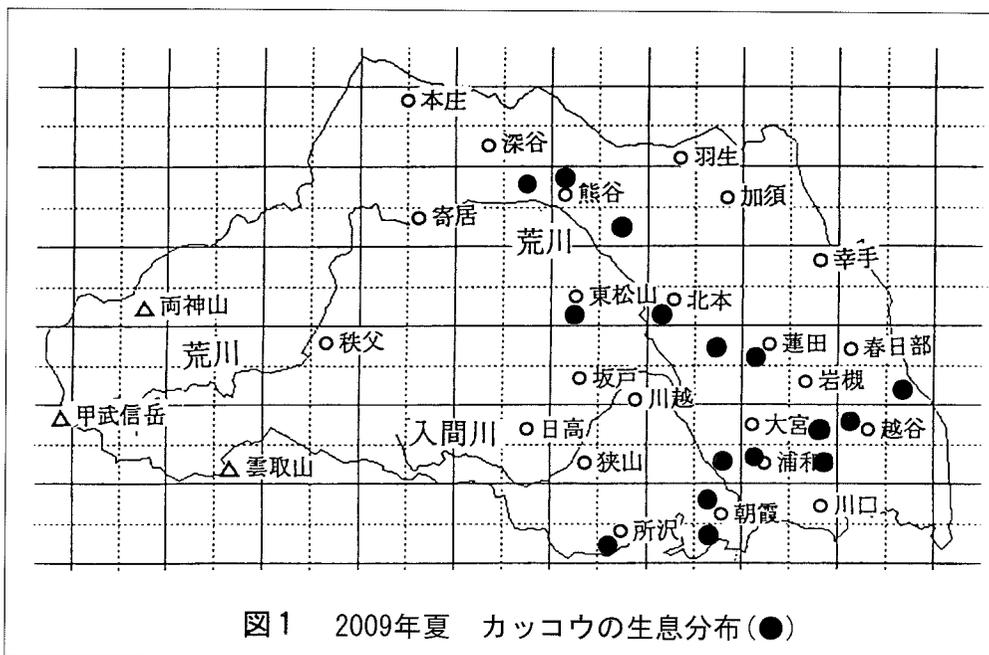


図1 2009年夏 カッコウの生息分布(●)

第2次県内野鳥分布調査 最後の注目種はアオゲラ!

2005年夏から始まった第2次県内野鳥分布調査は、会員の皆様のおかげで最後を迎えました。今回の注目種は、緑色のキツツキ、アオゲラです。20年前、冬の雑木林ではよく見かけたキツツキですが……。

12月1日から1月31日の間に、県内の任意の場所で見かけた鳥たちを1月号に同封する調査はがきの裏面に、アオゲラを観察した場所をはがき表面の「注目種」欄に

ご記入ください。

(研究部 石井智・小荷田行男)



アオゲラ(蟹瀬武男)



深谷市本田白鳥飛来地 ◇8月2日、キアシシギ6羽、クサシギ1羽、イソシギ約15羽。8月8日、キアシシギ1羽、イソシギ2羽。8月15日、タカブシギ1羽、クサシギ1羽、イソシギ約10羽、ショウドウツバメ多数。8月22日、アオアシシギ1羽、トウネン1羽、クサシギ2羽、イソシギ約10羽、ハヤブサ1羽。8月29日、オジロトウネン2羽、トウネン8羽、クサシギ3羽、イソシギ約15羽。9月6日、トウネン1羽、クサシギ2羽、イソシギ3羽、ミサゴ1羽、ハヤブサ1羽、ツツドリ1羽。9月12日、オジロトウネン3羽、トウネン4羽、クサシギ2羽、イソシギ4羽。9月19日、アオアシシギ3羽、キアシシギ1羽、トウネン3羽、クサシギ14羽、イソシギ5羽、エゾビタキ1羽。9月23日、キアシシギ1羽、クサシギ2羽、イソシギ4羽、オオタカ1羽。9月27日、クサシギ4羽、イソシギ3羽、コサメビタキ1羽。この時季、河原は歩きにくいほど草丈が高い（鈴木敬）。

深谷市本田 ◇9月6日、芳沼北側の休耕田でオオジシギ1羽、広げた尾羽も観察した。9月12日、水がたまった休耕田でタシギ4羽。9月19日、タシギ6羽（鈴木敬）。

さいたま市緑区宮本 ◇9月10日午前7時～8時、桜の梢のシジュウカラ20羽群れ中にセンダイムシクイ2羽視認（船木数樹）。

さいたま市浦和区蓮昌寺 ◇9月12日、19日、雑木林でガビチョウがさえずる（小荷田行男）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇9月14日、サシバ高空を舞う。元荒川の岸にコガモ1羽。シジュウカラの群れにエナガ数羽とキビタキ♀。9月19日、キビタキ♀1羽、エゾビタキ2羽、コサメビタキ1羽、オオタカ1羽飛翔。コジュケイ5羽が次々に道路を横断して行った（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区秋ヶ瀬 ◇9月15日、子供の森で樹冠を動き回るシジュウカラ、メジロの小群にサンコウチョウ発見（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区金重 ◇9月16日午前10時30分頃、上空のカラスの中にオオタカ1羽（本多己秀・久文字）。

さいたま市岩槻区平林寺 ◇9月16日午前10時頃、アマサギ11羽、人の後ろ1m位を回っていた。チュウサギ6羽、ダイサギ5羽、モズ。9月21日、午後1時30分頃、稲刈り後の田んぼでチュウサギ22羽。9月26日、コサギ1羽、チュウサギ3羽、キセキレイ1羽、ハクセキレイ5羽、セグロセキレイ3羽、モズなど（本多己秀・久文字）。

蓮田市蓮田 ◇9月11日午前6時10分、ツミの声をはっきりと聞く。9月20日午前6時頃、ツミ、「ケケケ…」と鳴く。2羽いるようだ（本多己秀）。

蓮田市蓮田根ヶ谷戸公園付近 ◇9月16日午後、サシバの声確認（川合由佳）。

蓮田市黒浜 ◇9月16日、稲刈りの終わった田んぼでアマサギ52羽、頭部が茶色の個体もちらほら見られた。チュウサギ49羽、ドジョウを食べているのもいた。ツバメ3羽、ハクセキレイなど（本多己秀）。◇9月20日午前11時頃、サシバ1羽、貝塚の上空約30mを旋回。青空に翼が透けて見え美しかった。9月21日午後1時頃、チョウゲンボウ1羽、アオサギ、ツバメ、モズなど（本多己秀・久文字）。

蓮田市西城沼公園 ◇9月18日、ツツドリが樫の木から飛び出し、頭上を越えてナラ林に飛び込んだ（長嶋宏之）。

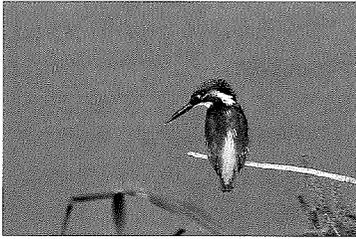
羽生市羽生水郷公園 ◇9月15日、「かたらいの丘」でツツドリが桜の枝と櫻の枝を飛び移っていた。じっと待っていたら、ポーズをとってくれたので記念にパチリ！モズがラクウショウの梢で高鳴き。驚いたのかオナガが20羽+次々に飛び立った。その他、トビ、カイツブリ、カルガモ、ダイサギ、アオサギ、セグロセキレイ、カワセミ、ツバメなど。帰路、三田ヶ谷池の畔をイタチが横切った（長嶋宏之）。

表紙の写真

カモ目カモ科コブハクチョウ属コハクチョウ成鳥7羽とオオハクチョウ幼鳥（前列右から2羽目）1羽
町田好一郎（本庄市）



行事案内



カワセミ(落合英二)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章の担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。 持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月5日(土)

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。
または午前8時30分、中央エントランス
駐車場。

交通：東武日光線新越谷 7:21→春日部 7:36
→栗橋 7:56→柳生 8:05 着。または JR 宇
都宮線浦和 6:56→大宮 7:07→栗橋 7:41
着で、東武日光線乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：内田、橋口、玉井、田邊、四分一、
中里、小林(正)、植平、進士、山田(東)
見どころ：ここ数年、谷中湖に羽を休める水
鳥たちは減少傾向。それでもカモ、カイ
ツブリ、アイサなどの仲間と顔を合わせ
れば満足。チュウヒやミサゴ、居つきの
ハヤブサが姿を見せればなお満足。オオ
ジュリンやベニマシコなどの声も懐かし
い。五感を使って楽しみましょう。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月6日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。
交通：JR 高崎線北本駅西口アイメガネ前から
北里メディカルセンター病院行きバス
8:31 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原、浅見、岡安、大坂、内藤、立岩、
永野(安)、山野、長谷川

見どころ：葉を落とした石戸宿・里山の森に

冬鳥の姿を求めて歩きましょう。常連は、
アオジ、ジョウビタキ、ツグミ、カシラ
ダカなどに加えて、ルリビタキやベニマ
シコ。大空に猛禽類も期待しましょう。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

<差間コース>

期日：12月6日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園
駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口②番バス乗り場から、東川
口駅北口行き 8:37 発で、「念仏橋」下車。

後援：浦和くらしの博物館民家園

担当：伊藤(芳)、手塚、倉林、若林、新井(勇)、
赤堀、須崎、藤田(敏)

見どころ：見沼の里で冬鳥たちを楽しみま
しょう。ツグミやジョウビタキはもちろん、
最近種類が特に減っているカモにも会え
ることを期待したいですね。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月12日(土)

集合：午前9時30分、西武狭山線西武球場前
駅前。

担当：石光、長谷部、久保田、高橋(優)、持
丸、小林(ま)、水谷、間正

見どころ：狭山湖の主役・カンムリカイツブ
リは、早くも優雅に湖面を滑っています。
この時期は常連のカモ類のほか、珍客の
来訪にも期待しながら、湖岸を歩きま
しょう。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月13日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷 9:09 発、または寄居
8:49 発に乗車。

担当：中里、後藤、森本、大澤、倉崎、高橋
（ふ）、藤田（裕）、栗原、飛田、新井（巖）、
千島、鶴飼、岡田

見どころ：土手に冷たい空気が流れ、木々の
装いも寂しくなっていて、鳥たちの賑やかな
季節が巡ってきました。明戸の堰まで歩
き、冬越しの鳥たちを探しましょう。1
年間楽しませてくれた感謝の気持ちも忘
れずに。

さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月13日（日）

集合：午前8時35分、東武野田線岩槻駅前。
集合後バスで現地へ。または午前9時、
文化公園駐車場（国道16号側）。

交通：東武野田線大宮8:18発、または春日部
8:18 発で岩槻下車。

担当：長野、玉井、田中、石川、吉安、長嶋、
榎本（建）、野村（弘）、小林（善）

見どころ：公園内と隣接の元荒川沿いの道を
歩きます。林や水辺、アシ原など規模は
小さいながらも多様な環境の中で、どん
な冬鳥に出会えるでしょうか。久々にア
カ・アオ・キイロなど憧れの鳥にも期待
しましょう。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月16日（水）

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。
または午前8時30分、中央エントランス
駐車場。

交通：東武日光線新越谷7:20→春日部7:34
→栗橋7:55→柳生8:05 着。またはJR宇
都宮線浦和6:55→大宮7:03→栗橋7:38
着で、東武日光線乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：玉井、大坂、楠見、田中、植平、松村
見どころ：野鳥の天国渡良瀬で、静かな平日

にゆっくりと探鳥を楽しみましょう。猛
禽類の宝庫で、特にチュウヒは何回も見
られるでしょう。カモやカイツブリ、白
く変身したミコアイサ、枯れ草の中の小
鳥なども楽しみです。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月19日（土）

集合：午前9時30分、森林公園南口前。
交通：東武東上線森林公園駅から、立正大学
行き9:10 発バスで「滑川中学」下車。
（ひとつ手前の「森林公園南口」は通過し
てください。）

費用：入園料400円（子供80円）

担当：中村（豊）、岡安、佐久間、大坂、青山、
喜多、内藤、藤掛、後藤、山田（義）、高
橋（ふ）、藤澤、林、宇野澤、杉原

見どころ：落ち葉を踏みながら、冬鳥を探し
て山田大沼まで歩きます。今年はどうな
出会いが待っているのでしょうか。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月19日（土）午後3時～4時ころ
会場：支部事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月20日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東
口、集合後バスで現地へ。または午前9
時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、倉林、渡辺、若林、小菅、
赤堀、新部、青木、増田、宇野澤、須崎、
船木

見どころ：三室の探鳥会に出席しないと年忘
れができません。芝川の堤もすっかり刈
り取られて冬支度。にぎやかにカモたち
が泳いでいます。負けずに元気に探鳥会
を楽しみたいですね。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：12月20日（日）

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線花崎駅改
札口。または午前9時、加須はなさき公

園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部 8:22→久喜 8:35
→花崎 8:42 着。JR 宇都宮線大宮 7:57→
久喜 8:23 で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所
担当：青木、中里、宮下、長嶋、四分一、栗
原、内田、植平、長谷川、小林(正)、茂
木

見どころ：昨年は 100 羽を超えるミヤマガラ
スの群れや、コハクチョウの編隊飛行を
見ることができました(2009 年 6 月号、
行事報告参照)。今年も残りわずかです。
一緒に素適な出会いを期待しましょう。

年末講演会

日時：12 月 23 日(水・祝)

会場：浦和コミュニティーセンター 9 階第 15
集会室。

交通：浦和駅東口下車。目の前の PARCO の 9 階。
参加費：100 円(中学生以下無料)

開場：午後 1 時

第 1 部：午後 1 時 30 分～2 時 45 分
ビデオで振り返るこの 1 年、他。

第 2 部：午後 3 時 00 分～4 時 30 分
講演「鳥の目から見た都市環境」



講師 唐沢孝一氏
(都市鳥研究会代表、
自然観察大学副学
長)

大都会を舞台に生
息する鳥たちとその
環境への適応などを
語っていただきます。

会場では、氏の著書等の販売も行います。
懇親会：氏を囲んで浦和ワシントンホテルで、
会費 4,500 円。はがき

または
メール kyokuchan@nkc.or.jp で、12 月
19 日までにお申し込みください。

その他：第 1 部の、映像・画像・スライドも
募集中です。あなたの傑作を、5 分以下
程度に編集して、橋口宛にお申し込みく
ださい。

幸手市・宇和田公園探鳥会

期日：12 月 27 日(日)

集合：午前 9 時 15 分、宇和田公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線東武動物公園東口から、
境車庫行き 8:45 発バスにて「上宇和田」
下車、北方向に徒歩約 5 分。

担当：中里、四分一、栗原、植平、佐野、佐
藤(宏)

見どころ：ひっそりとした暮れの公園、こが
らしに裸木の梢の揺れる音だけが流れて
いきます。そんな中、冬の鳥たちとの出
会いを楽しみましょう。

埼玉県内年間鳥見ランキングのご案内

普及部長 橋口長和

埼玉県支部の鳥見ランキングも今回で第 8 回
目。2009 年の鳥見総決算として、「探鳥会参加
数ランキング」と「観察鳥種数ランキング」に
参加しませんか。

2009 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの間に、
埼玉県内で観察した鳥種数および探鳥会参加回
数によりランキングを決定。皆様のご参加をお
待ちしております。

観察鳥種数ランキング

- 埼玉県内での観察であること。県境の河川敷
等で双眼鏡や望遠鏡で見える範囲は可。
- 観察鳥種は当支部が制定している『埼玉県内
鳥類リスト』に記載されているものとし、新
種に関しては、当支部野鳥記録委員会が認定
した時点で加算。
- 鳥種名、観察月日、観察場所の 3 項目を記載
したリストを送ってください。

探鳥会参加回数ランキング

- 埼玉県支部主催の探鳥会に限ります。リーダ
ー、参加者とも 1 回 1 ポイント(宿泊探鳥会
も 1 ポイント)とします。
- 探鳥会名、実施月日の 2 項目を記載してリ
ストを送ってください。

参加方法

- 埼玉県支部会員に限ります。リストの形式は
自由。お名前とご住所、電話番号を記載して、
メール kyokuchan@nkc.or.jp または
〒350-0202 幸手市宇和田 1-1-1 橋口長和
に郵送を。
- 締切 2010 年 1 月 31 日(当日消印有効)



行事報告

5月5日(火、休) 千葉県習志野市 谷津干潟

参加: 56名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ ハヤブサバン コチドリ メダイチドリ ムナグロ ダイゼン キョウジョシギ トウネン ハマシギ コオバシギ オバシギ キアシシギ イソシギ オオソリハシシギ チュウシャクシギ セイタカシギ コアジサシ キジバト コゲラ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) (番外: ドバト) 夏羽のコオバシギは珍しく、23年間で4回ほど。たいていは秋に色褪せて出現する。フィールドガイドには載っていないオオソリハシシギの♂♀の違いもしっかり観察できた。鳥合わせ中にハヤブサが上空に飛来するし、「終了」と言ったらセッカが鳴き出すし、10分延長して出現鳥に入れた。(杉本秀樹)

5月8~10日(金~日) 東京都 三宅島

参加: 25名 天気: 晴

オオミズナギドリ アカアシミズナギドリ ハイイロミズナギドリ ハシボソミズナギドリ カツオドリ ウミウ ダイサギ アマサギ チュウサギ コサギ クロサギ アオサギ トビ コジュケイ オオバン イソシギ ツバメチドリ セグロカモメ ウミネコ アジサシ カンムリウミスズメ カラスバト キジバト ツツドリ アオバズク ヒメアマツバメ アマツバメ コゲラ ツバメ ヒヨドリ モズ ミソサザイ コマドリ イソヒヨドリ アカハラ アカコッコ ウグイス ウチヤマセンニュウ メボソムシクイ イイジマムシクイ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ハシブトガラス (48種) 8日は台風1号が通過後のため、条件付出発となり、昨年の帰りを思い悩んだが、実行の決断をした。今年は、三宅村営バス「鳥パス」2日券=島内路線バスフリー&温泉(ふるさとの湯)1回券が発行され利用した。アカコッコ

館の入館料金も「鳥パス」に含まれており、村営バスで、島内一周を楽しんだ方々もいた。目的のアカコッコ・イイジマムシクイ・カラスバト・タネコマドリ・オーストンヤマガラ・シチトメジロ・ミヤケコゲラ・モスケミソサザイ等を観察。昨年までは天候が悪くて行けなかった伊豆岬灯台周辺でウチヤマセンニュウも全員観察。温泉に行った人達は、ツバメチドリ等も観察。噴火で1mも沈下した長太郎池周辺では、ウミガメも見られた。帰りの船上からは、アマサギの渡りや、カツオドリ・カンムリウミスズメ・オオミズナギドリ等を観察出来て、まずまずだった。(藤掛保司)

5月9日(土) 蓮田市 黒浜沼

参加: 52名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン オオバン ムナグロ キアシシギ イソシギ キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 始まるとまもなくムナグロ±30羽の群れ、正直ホッとす。その中にキアシシギも。途中オオヨシキリの囀りと姿、キジの姿などを楽しみ、下沼そばまで進むと、ダイサギが2羽。目先が青く、脚の付け根が赤く変色している。全員が婚姻色をジックリ観察。上沼では、カワセミ、バン、オオバン、カイツブリを観察して、鳥あわせ場所の環境学習館へ。出現種だけでなく、季節の変化を感じ、楽しんでもらえたらなら嬉しいと思う。(田中幸男)

5月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 49名 天気: 晴

カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ トビ オオタカ ノスリ コジュケイ キジ コチドリ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ウグイス センダイムシクイ セッカ キビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 今年初の真夏日とのことで大変暑い。荒川の少し手前まであまり小鳥の姿が見えない。

荒川の少し手前の林でホオジロのさえずり。また、その横の木にキビタキが姿を見せる。荒川ではカワセミ、セッカ、マガモ、婚姻色のダイサギ等が見られた。
(後藤康夫)

5月16日(土) 加須市 加須はなさき公園

参加：34名 天気：曇

カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ ツミ チョウゲンボウ コジュケイ キジ コアジサシ キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) (番外：ドバト) この日のメインは「ツミ」と「セッカ」！前半はなかなか鳥が出ない。「ムクドリもよく見ると1羽ごと顔が違いますね」「カラスも顔はかわいいですよ」などと説明し公園脇の田んぼに行くが、朝の下見にはいたダイサギ、チュウサギ、コサギが1羽もいない。公園内の池でようやくコアジサシが出現し、鱈ならぬ小魚を捕食する姿が見られ一安心。自然観察園では梢にちよこんとツミの雄がとまっており、参加者全員がじっくり観察できた。探鳥会最後の方にはフェンスにセッカが止まり、これまた全員がじっくり観察できた。はなさき公園の記録に「ツミ」「コジュケイ」と2種追加で、満足できた探鳥会であった。
(青木正俊)

5月16日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：7名

新井浩、池田泰右、海老原教子、大坂幸男、佐久間博文、志村佐治、松村禎夫

5月17日(日) 浦和市 三室地区

雨のため中止。
(楠見邦博)

5月23～24日(土～日) 長野県 戸隠高原

参加：26名 天気：両日とも曇一時雨

カイツブリ アオサギ カルガモ ハチクマ トビ オオタカ クマタカ キジバト アオバト カッコウ ツツドリ ホトトギス ヨタカ アマツバメ アカショウビン アオゲラ アカゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ サンショウクイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ コルリ クロツグミ アカハラ ウグイス キクイタ

ダキ キビタキ オオルリ コサメビタキ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ メジロ ホオジロ ノジコ アオジ クロジ カワラヒワ マヒワ イカル ニュウナイスズメ スズメ コムクドリ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (55種) 山の上はガスがかかり空模様はあまり良くない。2日目も微妙な予報なので、記念写真を撮る。最初にサービス精神の良いミソサザイにごあいさつ。キビタキはあちこちで轉っており、容易に見ることはできるが、コルリはようやく探すことができた。鏡池で昼食後、雨がパラツキだした。その後もキビタキ、ミソサザイ、コサメビタキはサービス精神が旺盛で堪能できた。奥田旅館のボイラー故障で、むれ温泉まで入浴にでかけた。夜の宴会は2日目への期待で盛り上がった。2日目は雨音で目覚めたが、出発時には雨も上がった。植物園に着くと早速アカショウビンを探す。声は聞こえたがどうにも見つからない。一か所で見つめているわけにもいかず、地道に探鳥を続ける。ミソサザイは相変わらず元気な姿を見せてくれた。最後に見つめているアオバトとコムクドリをじっくり観察することができて良かった。
(菱沼一充)

5月24日(日) 狭山市 入間川

雨のため中止。
(長谷部謙二)

6月7日(日) 北本市 石戸宿

参加：62名 天気：晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ アオサギ キジバン キジバト ホトトギス カワセミ コゲラ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ セッカ キビタキ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (23種) 朝のうちは涼しかったが、日が昇るにつれて気温もグングン上昇。日差しは強烈だが、木陰は涼風が渡り、真夏の高原にいるよう。葉が茂り、鳴き声中心の探鳥会。キビタキとホトトギスの声を堪能。最後尾の人たちは、桜堤でねばって、ホトトギスをしっかり視認。先頭集団も最後に樹上で轉るオオヨシキリの赤い口を観察して欲求不満を解消。暑くてバテたが、全員元気に学習センターに到着して、涼しい室内で鳥合わせ。
(浅見 徹)

6月7日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 36名 天気: 晴

カワウ アオサギ カルガモ キジ コチドリ
キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ
ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ シジュウ
カラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ
ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (21
種) 調節池の工事でコースを変更。ヘルシーロード
コースを歩く。繁殖期真っ只中で鳥の姿を探す
のに苦労するが、主役のオオヨシキリは健在。ヘル
シーロードで花の季節と違った魅力も発見して、
暑さの中、夏の草花、新緑を楽しみながら入梅前
の野辺を楽しく歩いた。(手塚正義)

6月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 34名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ カルガモ トビ
オオタカ キジ コチドリ キジバト ホトトギ
ス カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセ
キレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキ
リ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ
カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス
ハシブトガラス (28種) (番外: ガビチョウ) 梅雨
入り直前。鳥影は多くはないが、よく見れば電線
のムクドリにも今年生まれの幼鳥が混じる。カイツ
ブリの今年の雛は、去年見た雛よりも発育が早
いようで、「もう自分で潜れるもん」とやんちゃぶ
りを発揮してくれた。最後はセッカをじっくり観
察。意外と知られていないが、セッカにも実は夏
羽がある。(榎本秀和)

6月14日(日) 坂戸市 高麗川

参加: 38名 天気: 薄曇

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ オン
ドリ カルガモ オオタカ キジ イカルチドリ
キジバト ホトトギス カワセミ コゲラ ヒバ
リ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ
ヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ エナガ
シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ
シブトガラス (31種) (番外: ガビチョウ) 薄日も
さす探鳥日和。久しぶりのオンドリ、3度のオオ
タカの飛翔、鳴きながらのホトトギスの飛翔、幼
鳥を交えたエナガとシジュウカラの群れ、定番の
カワセミなどを見ることができた。(山口芳邦)

6月20日(土) 静岡県 朝霧高原

参加: 28名 天気: 晴

トビ ノスリ キジ キジバト カッコウ ホト
トギス ヒバリ ツバメ ヒヨドリ モズ アカ
モズ ノビタキ ウグイス コヨシキリ オオヨ
シキリ セッカ ホオジロ ホオアカ アオジ
スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (22種)
(番外: ガビチョウ) 「アカモズ一本槍」を宣言し
た探鳥会だけに、参加者の期待が担当リーダーの
肩に重くのしかかる。が、アカモズはすぐにあっ
さり出てくれた。距離も近い。リーダーはほっと
したあまり、魂が抜けてしまって足取りも覚束な
い。そのあとのホトトギス、ホオアカ、ノビタキ
はもうおまけのようなもの。天気が良いので、午
後は富士山新五合目までバスで登る(探鳥記録は
省略)。帰り道はちょっと渋滞があつて大宮帰着が
20分遅れたものの、アカモズのお蔭で皆さん恵比
須顔だった。(榎本秀和)

6月20日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 8名

新井浩、池田泰右、海老原教子、海老原美夫、大
坂幸男、千野安以、藤掛保司、増尾隆

6月21日(日) 浦和市 三室地区

雨のため中止。

(楠見邦博)

7月5日(日) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地

参加: 50名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ヨシゴイ ササゴイ アオ
サギ カルガモ トビ キジ シロチドリ イソ
シギ コアジサシ キジバト カッコウ ヒバリ
ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキ
レイ ヒヨドリ モズ ウグイス コヨシキリ
オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ
シブトガラス (31種) オオヨシキリの合唱の中、
思い出橋前後でシロチドリ、イソシギ、カッコウ、
ササゴイ。いつもの展望台付近までにヨシゴイ、
コヨシキリ、セッカ、コアジサシ、と一応揃い。
湖北をのんびりと歩き、ウォッチングタワーに上
がって汗を拭き、しばし展望を楽しむ。復路は、
緑一色のヨシ浄化ゾーン内を少し歩き、再度湖畔
に出て、囀りや姿、水や草の匂い等、五感を楽し
んだ。(内田孝男)



●新規約案の基本方針

公益法人制度改革に伴う支部の名称等変更に関して、新規約案の検討を始めていることは本誌 10 月号でもお知らせしました。

財団本部担当者との打ち合わせ、支部内での意見交換を経て、「財団本部から示された新規約モデルに合わせ、内容は従来の支部規約・現状をそのまま反映する」との基本方針が、支部役員会で確認されました。

さらに事務局案として、新しい名称の会「日本野鳥の会埼玉」は、現在の日本野鳥の会埼玉県支部の事業・財産などをすべて引き継ぐものであること、新規約の施行日は、財団法人日本野鳥の会(財団本部)が公益法人日本野鳥の会に移行した日とすること、年度途中で新しい会になった時は、年度を通じての決算とすること、それまでの支部長・副支部長・幹事・監事は、年度内はそのままで、新しい会の代表・副代表・幹事・監事となること、などを、新規約の中で規定するか、総会で議決することが提案されています。

11 月 14 日(土)から 15 日(日)にかけて開催される関東ブロック協議会(群馬県支部担当、当支部からは藤掛保司支部長ら 4 名が出席する予定)では、新制度における関東ブロック協議会のあり方などが議論されます。

●予約申込み探鳥会の受付け方法を変更

従来は多くの場合「支部会員優先、申込み受付順」としていました。ところが、『野鳥』誌同封発送の分と、支部で袋詰めをして発送する支部報のみの分では、到着日に差があり、不公平が生ずるので、できるだけ到着日が近くなるよう、支部報のみの分の発送日を調整してきました。しかし、それには限界がありました。

そこで今後は、「申込みはがきの〇月〇日消印以降有効受け」とすることに変更しました。支部報到着日の差による不公平はなくなるはずですが、ご協力をお願いします。

●会員の普及活動

1999 年 8 月にさいたま市立西浦和小学校からの依頼で発足した「バードウォッチングクラブ」が「生きものウォッチングクラブ」に発展。10 年目となったのを記念して、彩湖生きものマップ(2.0m×2.5m)を担当の先生や子供たちと作成、廊下壁面に展示しました。指導：陶山和良・岩井義雄。

●会員数は

11 月 1 日現在 2,113 人です。

活動と予定

- 10 月 10 日(土) 11 月号校正 (海老原美夫・大坂幸男・志村佐治・藤掛保司・山田義郎)。
- 10 月 18 日(日) 役員会(司会：浅見徹、各部の報告・来年 1 月から 4 月までの行事予定・予約申込み探鳥会の受け・その他)。
- 10 月 21 日(水)「支部報だけの会員」に向け 11 月号を発送 (倉林宗太郎)。

●12 月の予定

- 12 月 5 日(土) 編集部・普及部・研究部会。
- 12 月 12 日(土) 1 月号校正(午後 4 時から)。
- 12 月 19 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。
- 12 月 20 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

マイフィールドに珍しい鳥が来ると、ほんとにうれしいですね。コーフンしますよね。9 月半ば、近所の休耕田にアカアシギが 1 羽！ 何も期待せずに行ったので、余計うれしくて、気分がハイになって……そのせいかどうか、帰りにスーパーの駐車場の壁に車をぶつけて、修理代 20 万円！ アカアシギ 1 羽で 20 万円は、ちょっと高かったかしら。(ど)

しらこぼと 2009 年 12 月号(第 308 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/
 編集部への原稿 yamazukuh@hotmai.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社